

市所蔵作品の科学調査の様子を一般公開！



今回調査する作品

長谷川路可《イタリアの思い出》フレスコ、127×107.5cm、1958年、藤沢市蔵

調査で内部の構造や損傷が明らかに

これまで、電磁波(テラヘルツ波)を用いた美術作品の科学調査は、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)が世界に先駆けて文化財に応用し、レオナルド・ダ・ヴィンチ作《最後の晩餐》や、キトラ古墳、高松塚古墳、狩野永徳作《檜図屏風》など、貴重な絵画の修復前調査に役立てられてきました。ストラッポ*したフレスコ画を電磁波(テラヘルツ波)で調査するのは、今回が世界初の試みとなります。

*裏面参照



観測日 2019年10月19日

レオナルド・ダ・ヴィンチ《最後の晩餐》調査の様子(NICT, Museo del Cenacolo Vinciano)

日時 | 2020年12月9日(水)・10日(木)

各日10:00~12:00 / 14:00~17:00

※上記の期間の前後、12月5日(土)~12日(土)には
赤外線撮影などの写真調査も行います。
12月7日(月)[休館日]は除く

場所 | 藤沢市アートスペース
(ワークショップルーム)

定員 | 12名

※予約不要、出入り自由
※定員を超える際は
お待ちいただく場合があります

電磁波(テラヘルツ波)を用いた科学調査のメリット

- ① 従来の科学調査では難しかった作品の内部(支持体や下地層)が観察できる
- ② 作品にダメージを与えず、安全に調査ができる
- ③ 将来、作品の修復をする際、修復方法を検討する材料となる

藤沢市役所 生涯学習部 文化芸術課 藤沢市アートスペース(愛称 FAS)
担当: 喜田(きた)、広報: 杉本

〒251-0041 神奈川県藤沢市辻堂神台2-2-2 ココテラス湘南6F
TEL: 0466-30-1816 FAX: 0466-30-1817 Mail: fj-art@city.fujisawa.lg.jp



作品と科学調査の意義

今回調査する作品は、長谷川路可^{ろか}(1897-1967)が描いた藤沢市所蔵の《イタリアの思い出》(表面図版参照)です。彼はイタリアでフレスコ画を学び、日本に本格的に紹介したパイオニアとして評価されています。

フレスコ画とは、砂と消石灰を混ぜた漆喰を壁に塗り、それが乾ききらないうちに、水で溶いた顔料で描画する方法です。その歴史は紀元前6世紀に遡り、ルネサンス時代に隆盛。フラ・アンジェリコやミケランジェロらによって多くの教会建築の壁面が彩られました。

路可は、壁面と一体であるフレスコ画を壁から剥がし、キャンバスに移し替えることで、今の私たちが家庭の中でも楽しむことができるようストラッポという技法も習得します。そして、イタリアから帰国した翌年、まずフレスコで描き、その後ストラッポを施した《イタリアの思い出》は、日本における早い時期のストラッポの例として貴重な作品です。

ただ、本作は絵具が剥がれてしまっている箇所が多数あり、将来的に修復が必要になると考えられます。今後の修復計画を立てるにあたって指針となるのが、今回の電磁波(テラヘルツ波)による科学調査です。すでに国内外で同様の調査実績のある国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)の協力を得て、実施の運びとなりました。



長谷川路可《イタリアの思い出》部分拡大



長谷川路可《イタリアの思い出》部分拡大

科学調査担当 福永 香 氏

国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)電磁波研究所勤務。株式会社フジクラ勤務を経て1994年に郵政省通信総合研究所(現NICT)入所。電波を用いた非破壊検査の研究に従事。博士(工学)、学士(造形)。藤沢市鶴沼出身。

(国宝) 狩野永徳作《檜図屏風》テラヘルツ波による調査例

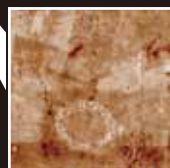
絵画前面から裏の補紙を観察(NICT, 東京国立博物館)



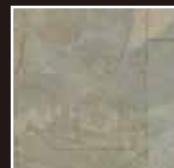
《檜図屏風》部分

元々屏風ではなく襖として作られた《檜図屏風》には引手の跡があります。作品の内部は通常は見られませんが、テラヘルツ波による透過調査で、引手部分の裏に複数の紙が当てられていることが観察できました。その後、平成の大修理で作品を解体し、古い下地を取り換えた際、実際に内部の紙の当てられ方を確認できました。

観測領域



テラヘルツ画像



修理時の補紙記録

■開催中の展覧会

core of bells | WEEKEND

会期: 2020年12月20日(日)まで

時間: 10:00-19:00 (入場は18:30まで)

■実施中の滞在制作

Artists in FAS 2020

期間: 2021年1月17日(日)まで

※滞在家・スケジュールの詳細はウェブサイトでご確認ください。

制作した作品は2021年1月30日(土) - 3月21日(日)に展示します。

藤沢市アートスペース(愛称 FAS)^{エファース}

〒251-0041 神奈川県藤沢市辻堂神台2-2-2 ココテラス湘南6F
TEL: 0466-30-1816 FAS: 0466-30-1817
Mail: fj-art@city.fujisawa.lg.jp



藤沢市アートスペース
Fujisawa City Art Space

PRESS RELEASE

プレスリリース